

財政状況の公表（平成18年11月公表 平成18年度上半期の財政状況）

平成18年度の一般会計予算の歳入では、17年度決算見込みや景気動向などをふまえ、前年度に比べ、特別区税や特別区交付金などの増収を見込みました。また、減税補てん債の借り換え分が皆減になったことや、事業債を計上しないことから、特別区債は減少しました。

歳出では、計画的な人員削減により人件費が減少しました。また、投資的経費は、学校再編に伴う学校施設改修費、地域の安全対策の経費などにより増加しています。

このページでは、今年度上半期の執行状況や、基金の状況、区債の状況などについてお知らせします。

金額は、表示単位未満で四捨五入しています。このため、収入率、執行率、構成比の数値は、表示されている数値から算出した値とは一致しないことがあります。

各会計の予算執行状況

各会計の予算執行状況

一般会計および各特別会計の執行状況は次のとおりです。

各会計の予算執行状況					
会計	予算現額 (億円)	収入済額 (億円)	収入率(%)	支出済額 (億円)	執行率(%)
一般会計	891	426	47.8	414	46.4
用地特別会計	0	0	0.0	0	0.0
国民健康保険事業特別会計	315	124	39.4	116	36.7
老人保健医療特別会計	228	101	44.2	99	43.5
介護保険特別会計	162	76	46.6	62	38.0

一般会計予算の執行状況

9月30日現在の執行状況は次のとおりです。

一般会計予算執行状況の歳入内訳			
歳入	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)
特別区税	283	106	37.7
特別区交付金	301	136	45.1
地方消費税交付金・利子割交付金等	83	53	63.7
負担金、使用料及び手数料	26	14	53.0
国・都支出金	152	60	39.3
諸収入	12	3	25.6
特別区債	6	0	0.0
その他	28	54	189.8
歳入合計	891	426	47.8

一般会計予算執行状況の歳出内訳			
歳出	予算現額(億円)	支出済額(億円)	執行率(%)
議会費	8	4	47.3
総務費	88	30	33.8
区民生活費	83	38	46.2
子ども家庭費	144	65	45.3
保健福祉費	304	153	50.3
都市整備費	74	22	30.5
教育費	90	39	43.2
公債費	55	19	34.0
その他	45	44	97.1
歳出合計	891	414	46.4

補正予算のあらまし

当初予算が成立した後、施策の変更が必要となったり、社会経済状況が変わった場合に、追加や修正をするための予算が補正予算です。

9月の第3回定例会で次の補正を行いました。

一般会計

5億1,997万7千円の追加補正を行いました。児童手当の対象児童の拡大や紅葉山公園環境整備、区立小・中学校体育館の耐震診断などに対応するためです。

国民健康保険事業特別会計

13億9百万円の追加補正を行いました。国民健康保険法の改正にともない、新たに実施される事業へ対応するためです。

介護保険特別会計

1億1,596万8千円の追加補正を行いました。国や都などの負担金の返還などに対応するためです。

区債・一時借入金・基金・区の財産の状況

区債の状況

区債は、将来にわたって区の財産となる土地の買入れや、公共施設の建設などの財源として発行するもので、いわゆる借金です。

発行にあたっては将来の財政負担が過大とならないよう注意が必要です。

9月30日現在の借入現在高は、498億円です。江古田の森保健福祉施設整備などのための借り入れを行ったことにより、3月末に比べて32億円増加しました。

区債の状況		
区債の種類(発行目的)	9月末現在高 (億円)	3月末借入額 (億円)
総務債(土地の取得、庁舎の整備などに)	70	70
民生債(社会福祉施設の建設などに)	105	75
土木債(橋りょう・公園の整備などに)	62	65
教育債(小中学校の耐震補強、社会教育施設の建設などに)	58	59
減税補てん債(住民税減税に伴う減収分の補てんに)	140	145
その他(区民施設の建設、まちづくりなどに)	63	52
合計	498	466

一時借入金

税などの収入時期と様々な経費の支出時期が一致しないなど、収支のバランスがとれず、一時的に支払いに必要な現金が不足するようとき、税金などがあつた場合すみやかに返済することを条件に銀行などから借りのお金のことを一時借入金といいます。

平成18年度上半期には、一時借入金はありませんでした。

基金

基金には、年度間の財政調整を図るためのものと特定の目的のために積み立てるもの、その利子で事業を行うものなどがあります。

基金の種類、目的と9月末の現在高は次のとおりです。3月末に比べると、総額で59億円増加し、227億円となりました。これは、年度間の財源調整を図る財政調整基金などに積み立てを行なったためです。

1. 年度間の財政調整を図るための基金
財政調整基金 123億円（年度間の財源の調整を図るために）
減債基金 43億円（特別区債の償還財源を確保するために）
 2. 特定の目的のために積み立てる基金
中野刑務所跡地防災公園建設基金 10億円（中野刑務所跡地に防災公園を建設するために）
社会福祉施設整備基金 7億円（社会福祉施設の整備・建設のために）
義務教育施設整備基金 25億円（義務教育施設の整備・建設のために）
区営住宅整備基金 5億円（区営住宅の整備のために）
災害対策基金 3億円（大規模災害時における被災者の救援等のために）
道路・公園整備基金 2億円(道路・公園の整備のために)
まちづくり基金 1億円(まちづくりのために)
区民公益活動推進基金 0.03億円(区民の公益活動の推進のために)
介護給付費準備基金 7億円（介護保険給付費の次年度以降の財源のために）
 3. その利子で事業を行うもの
平和基金 1億円（平和事業のために）
- 合計 227億円(本年3月末は168億円)

区の財産

区の財産の状況は、次のとおりです。

区の財産		
財産の種類	9月末現在	3月末
土地	110万3,690.47平方メートル	110万3,713.33平方メートル
建物	50万1,306.32平方メートル	50万581.48平方メートル
備品(50万円以上)	2,286点	2,275点

区民のみなさんの区税負担

区税には、区民のみなさんが月ごとに、あるいは年4回に分けて納める特別区民税のほか、特別区たばこ税、軽自動車税があります。

今年9月30日現在の特別区民税課税総額は、266億6,864万円です。これを本年10月1日現在の人口及び世帯数で割ると、区民1人あたり、1世帯あたりの負担額は次のとおりとなります。

- ・1人あたり 86,155円(昨年9月末は79,404円)
- ・1世帯あたり 148,857円(昨年9月末は138,706円)

今年10月1日現在の人口309,543人、世帯179,156世帯で算出(外国人登録者人数・世帯含む)